収第197号
7.12.12
庄内町議会

「町民と語る会」報告書

開催日時	令和7年11月11日	午後3時00分 ～ 午後5時02分
団体等名	清川地区振興協議会との懇談会	
場所	清川まちづくりセンター	
出席議員	吉宮茂、工藤範子、小野一晴、上野幸美、渡部伊君子、奥山康宏、加藤將展、伊藤和美、石川武利、齋藤秀紀、石川保（アドバイザー）、計11人	
参加人数	23人	
主な「質疑」「意見」「要望」「提言」など	※清川地区振興協議会との意見交換は、以下のとおり。 人口減少対策と立川地区の振興策について （振興協議会） 人口減少をくい止めることは、至難の業であると認識している。今住んでいる住民において、居場所や出番のあることが大切であって、同じ課題を共有する仕組み作りも重要である。清河八郎記念館と町づくりセンターを一体とした建物の複合型施設の整備に関して、議員の方々より理解していただき、町の方にも協力していただくようお願いしたい。 （振興協議会） 山形県内で、人口が増加している市もある。その要因として定年退職後に、税金が安い地域へ引っ越すことにより、人口が増えているのではないかと思っている。人口を増やす政策より、今住んでいる住民に対して、少しでも税金を安くしていくことは検討できないか。 （議員） 人口減少は全国的な課題であると認識している。令和8年1月16日には陸羽西線が運行再開し、高屋駅はなくなってしまうが、清川駅は維持されることになった。昔から清川の人は馬力があって優秀な人も多い。清川は教育の町であった。今いる住民が今後、どんなことに不安を感じているか等を把握して、ひとつひとつ解決していることが大切である。 （議員） 老人ホームを建築すれば都会から人は来る。清川地区でこれを良しとすれば、都市部から高齢者の人口転入は増えるものの、地域住民の総意としてまとまれば、町に意見を伝えることも重要である。 清川まちづくりセンターの外壁塗装整備について （振興協議会） 清川まちづくりセンターの建物の外壁コンクリートにこびりついている黒ずみは、高圧洗浄機で洗浄しても、きれいにとれない。庄内町の看板を背負っているこの建物が、このような状況でいいのか。また、アスベスト対策についても早急にしなければいけないが、どう	

【参考様式】

「町民と語る会」報告書（2号様式）

	か。観光客などセンターに立ち寄った際、この建物をみるとがっかりするとの感想が寄せられる。町当局に対し補修工事見積を提示したが、3千万円くらいの規模になるため、令和8年度予算にてどう判断されるか注視したい。 （議員） 現状の建物の改修工事に3千万かかるのであれば、新たな複合施設を早期に建築したほうが良いのではないかと交渉するのもよいと考える 鳥獣被害対策について （振興協議会） 清川地区において、クマ・カラスの糞害・トラツムギの鳴き声などの鳥獣被害があり、特に今年はクマの目撃情報は頻繁に報告されている。本町における鳥獣被害対策の具体的な取り組みとその成果について伺いたい。 （議員） クマの目撃情報に関して、令和6年度は1件であったが、今年度は27 件と大幅に増えている。クマの出没理由として、餌となるブナの実が凶作のため、人里に現れているものと推察される。カラスについては、追い払いを実施しているが、捕獲についても検討している。電気柵の設置では、今まで個人による対応であったが、今後は集落全体に設置することも考えていかないといけない。クマの餌となる柿の木に関する実態調査も実施していく必要があると認識している。 その他 （議員） 総務文教厚生常任委員会で調査した「清河八郎大河ドラマ誘致について」の報告書を説明・紹介する。 （振興協議会） 平成23年に清川ガイドの会が発足した。歴史の里きよかわのまち歩きでガイドを行っているが、令和7年10月末現在、175件の個人団体より依頼あり、累計3084人にガイドをしている。英語を話せるガイドもいる。観光のまちとして頑張っている。なお、食堂部門においても、軒並み前年比100%を大きく上回る実績で推移している。 （振興協議会） 朝の登校時間に小学1年生が1人で通学していた。クマの出没により、1人での通学は非常に危険である。通学路の途中に空き家があり、草刈りや枝打ちはされていない。クマが隠れていてもこちらからはわからない。危険回避のため、スクールバスを小学生の家の近くに寄っていただきたい。

「町民と語る会」報告書（2号様式）

	（議員） 今月開催される全員協議会の中で、クマ対策を集中的に行うことになるが、その中で対応を協議することになる。 （教育課の見解：全町的にスクールバスを自宅まで回すことはしていない。保護者が停留所まで来てもらって、子供に同伴してもらいたい。 環境防災課の見解：3年間継続で刈り払いを行う場合には、1年目は費用全額を町が補填する制度あり。ただし、2年目3年目は補助金はなし。今年は町からの周知を行っておらず、県の予算もなくなり、来年度から利用できるようしたい。） （振興協議会） 南町の地下道入口付近に生い茂っているススキの草刈りを早急に行っていただきたい。私有地か国有地かわからないが、クマの出没などもあり、南町の住民は伸びたススキに大変困っている。 （議員） ただいまの要望について、担当課に話を繋ぎたい。 （建設課の見解：この場所の道路は町道認定場所だが、過去の経緯では、この辺りを町が刈り払いを行ったことはない。これまで通り、地域で対応してほしい。） （以上）

庄内町議会議長　殿

令和7年12月12日

庄内町議会「町民と語る会」実施要領の規定により提出します。

令和7年度町民と語る会

班長　加藤　將展

書記　奥山　康宏

【参考様式】